

園芸市場情報

平成27年12月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407 FAX：03-5492-5407

12月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年並み、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

花きは、入荷量は前年並み、相場も前年並か！

やっちゃんば閑話 「青天の霹靂」 P8

首都圏掲示板 P9

<今月の1枚>＊「千葉県秋冬野菜販売出陣式」を開催しました！！＊

11月20日（金）、大田市場において、県、全農ちば、県園芸協会など関係団体が一体となって、いよいよ本格的な出荷時期を迎えた本県産秋冬野菜の販売出陣式を行いました。当日は、県内の若手生産者のほか、「ちばの野菜伝道師」、ポートクイーン千葉も応援に駆け付け、参加者一同が森田知事の発声に続いて、威勢よく「エイエイオー！」とときの声を上げ、県産野菜の出陣を祝いました。



C O N T E N T S (目次)

I 青果情報

- 01 11月(中旬まで)の経過
- 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
- 04 12月の見通し
- 05 品目別生産出荷概況
特集「なばな」

II 花き情報

- 06 11月の経過(販売経過、入荷量と単価の経過、品目別経過)
12月の見通し(カーネーション、鉄砲ユリ、日本水仙)

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 07 10月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 08 「青天の霹靂」

V 首都圏掲示板

- 09 「産地の魅力を八百屋にPR! さつまいも産地見学会」

用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の 幅を 示す 用語	平年並	: ±2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ±3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ±6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 11月（中旬）までの経過

野菜類

気象	10月下旬まで全国的に好天に恵まれた。11月からは、北海道・東北の日本海側を除いて、平年に比べて降水量は多く、日照時間は少なくなった。しかし、気温は平年よりも高く推移し、関東以西は特に暖かい気候となった
入荷量	東京都中央卸売市場への入荷は、高冷地や北海道・東北産から関東・西南暖地産に徐々に切り替わっていった。 10月から11月中旬にかけての高温により「ほうれんそう」「きゅうり」等で生育が前進し、前年を上回った。一方「だいこん」「にんじん」「ねぎ」等は生育前進により端境となり、前年を下回った。 11月上中旬計では85,880t（前年比99.5%）と前年並となった。
相場	価格は、入荷量増加に伴い下降傾向にあるものの、前年が大幅な安値基調であったことから、11月上中旬計では、198円/kg（前年比104.6%）と前年をやや上回った。

果実類

入荷量	「みかん類」「りんご類」「かき類」を中心に前回った。 入荷量は前年と比べて、「みかん類」でかなり多くなったが、前年豊作だった「りんご類」や、出荷ピークが前進した「かき類」など多くの品目で前年を下回った。 11月上中旬計では、29,414t（前年比98.6%）と前年並となった。
相場	価格は、前年に比べ品質が良い「みかん類」や、入荷量が少なかった多くの品目で前年を上回った。 11月上中旬計では、286円/kg（前年比108.7%）と前年をかなり上回った。

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

(単位:t、%、円/kg)

平成27年10月下旬～11月上旬

品目	産地	10月下旬				11月上旬				11月中旬				11月上中旬計			
		開市日数		本年8日・前年9日		開市日数		本年7日・前年7日		開市日数		本年7日・前年7日		開市日数		本年14日・前年14日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	—	50,790	94.8	214	117.3	42,068	97.5	209	110.8	43,812	101.4	188	98.7	85,880	99.5	198	104.6
だいこん	市場計	5,138	94.3	68	117.1	4,219	93.9	71	139.3	4,467	95.9	51	101.6	8,686	94.9	60	120.1
	千葉	2,944	115.5	70	121.7	2,947	99.4	71	138.7	3,091	96.6	50	101.4	6,038	97.9	60	120.0
にんじん	市場計	3,202	90.4	111	139.2	2,610	92.6	121	156.5	2,393	92.0	133	149.4	5,003	92.3	127	152.8
	千葉	9	66.0	139	125.8	493	157.1	140	136.3	1,623	113.4	139	144.1	2,115	121.3	139	142.7
はくさい	市場計	5,514	93.5	64	168.3	4,085	103.5	60	180.2	3,835	91.3	45	134.4	7,920	97.2	53	157.8
	千葉	0	58.9	26	67.3	0	4.3	172	318.5	1	65.5	59	84.4	1	31.5	68	110.8
キャベツ類	市場計	5,844	89.9	108	200.8	4,118	94.3	114	217.0	4,729	108.6	81	137.4	8,847	101.4	96	172.9
	千葉	2,025	88.5	116	204.2	1,897	95.8	123	232.6	2,223	124.7	86	148.4	4,120	109.5	103	186.4
ほうれんそう	市場計	755	122.2	381	79.3	620	108.5	342	82.9	696	120.2	273	71.5	1,315	114.4	306	77.0
	千葉	74	154.0	272	77.7	69	118.3	249	82.2	85	126.9	171	57.9	154	122.9	206	68.9
ねぎ	市場計	2,222	101.8	218	114.0	1,784	93.7	241	124.0	1,720	89.1	248	119.1	3,504	91.4	244	121.4
	千葉	55	176.4	240	95.9	70	113.6	272	126.3	138	112.6	278	111.3	207	113.0	276	115.8
レタス類	市場計	2,915	88.6	192	172.9	2,937	111.9	128	115.0	3,086	117.1	94	80.0	6,024	114.5	111	96.6
	千葉	44	118.2	212	123.0	63	125.9	161	106.7	77	144.5	125	81.4	141	135.5	141	92.7
きゅうり	市場計	2,288	118.5	250	74.3	1,737	105.3	249	72.3	1,644	115.4	269	64.9	3,381	110.0	258	68.6
	千葉	119	104.3	249	75.6	126	107.5	254	73.8	147	116.3	287	71.3	273	112.1	272	72.5
なす	市場計	1,051	113.5	325	103.9	788	104.2	301	97.4	669	109.1	346	99.3	1,457	106.4	322	98.4
	千葉	12	121.5	340	118.9	7	93.9	327	104.7	6	98.9	356	100.3	13	96.0	340	102.8
トマト	市場計	2,431	107.6	396	119.5	1,955	93.8	359	107.1	2,570	128.9	278	83.5	4,525	110.9	313	93.7
	千葉	525	92.8	358	121.7	412	81.0	310	107.3	482	113.1	234	90.6	894	95.6	269	97.9
ピーマン	市場計	705	105.0	319	109.7	661	112.4	292	87.6	676	102.4	241	82.9	1,338	107.1	266	85.6
	千葉	6	87.3	735	117.5	7	112.4	593	93.1	5	89.1	451	85.1	12	101.0	531	91.0
さといも	市場計	396	91.5	281	107.2	356	86.5	262	106.8	328	82.7	264	109.4	684	84.7	263	108.0
	千葉	66	94.6	270	122.6	44	68.3	272	123.6	37	76.1	251	117.0	81	71.7	263	120.6
ばれいしょ類	市場計	2,522	87.1	104	114.8	2,364	95.8	100	109.4	2,398	94.2	96	106.2	4,763	95.0	98	107.8
	千葉	2	699.6	52	47.6	3	49.2	50	56.7	0	0.0	-	-	3	49.2	50	56.7
たまねぎ	市場計	3,568	81.8	76	94.5	3,188	89.6	75	92.7	3,172	85.6	73	89.4	6,360	87.6	74	91.0
生しいたけ	市場計	278	91.6	947	98.8	245	94.3	988	105.2	254	100.4	937	94.4	499	97.3	962	99.7
かぼちゃ	市場計	1,311	117.9	154	77.3	1,010	107.8	157	75.1	998	135.8	131	61.2	2,008	120.1	144	68.2
さやえんどう	市場計	14	126.8	1,296	104.3	24	152.6	940	86.6	37	162.9	793	71.3	61	158.7	851	77.2
かんしょ	市場計	1,069	100.1	254	116.8	963	101.6	254	109.8	1,034	95.2	242	114.2	1,997	98.2	248	112.1
	千葉	571	109.5	225	119.3	522	102.5	233	109.1	564	94.1	216	121.0	1,086	97.9	224	115.2
かぶ	市場計	723	96.0	112	107.5	630	105.1	111	103.6	696	106.5	96	92.5	1,326	105.8	104	97.8
	千葉	510	97.2	112	110.0	483	112.8	108	98.1	551	117.7	94	86.1	1,033	115.4	101	91.7
ごぼう	市場計	336	83.3	262	119.0	340	89.7	276	135.4	313	76.1	277	142.9	653	82.6	277	139.2
	千葉	0	7.2	344	61.2	0	0.0	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	-	-
こまつ菜	市場計	528	118.4	170	83.4	400	110.4	162	78.0	389	119.1	135	51.0	789	114.5	149	63.3
	千葉	37	88.4	167	83.6	33	110.1	172	86.5	34	168.8	137	56.4	68	133.7	154	71.3
こねぎ	市場計	146	110.2	846	113.8	123	115.0	739	98.1	128	112.4	670	81.6	250	113.6	703	89.3
わけぎ	市場計	5.3	73.4	829	129.0	4.5	67.6	786	141.3	5.4	88.6	644	108.1	9.9	77.6	709	123.3
糸みつば	市場計	57	93.0	345	111.2	50	98.6	330	104.9	47	102.4	332	94.9	97	100.4	331	99.9
しゅんぎく	市場計	120	110.5	406	83.2	109	110.7	408	94.1	130	119.6	343	68.4	239	115.4	373	79.4
	千葉	24	110.6	418	80.2	31	143.8	418	87.2	39	123.8	360	67.3	70	132.0	386	75.3
にら	市場計	287	99.8	623	105.5	255	102.4	609	104.8	271	104.1	539	90.5	526	103.3	573	97.4
セルリー	市場計	292	82.1	220	118.1	249	91.9	223	100.3	270	90.3	178	89.4	519	91.1	199	95.0

品目	産地	10月下旬				11月上旬				11月中旬				11月上中旬計			
		開市日数 本年8日・前年9日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年14日・前年14日			
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	市場計	161	92.6	212	112.8	139	66.4	217	130.9	228	132.5	166	87.9	367	96.2	185	105.2
ブロッコリー	市場計	819	72.9	424	149.9	806	61.5	388	193.7	1,247	108.7	255	143.4	2,053	83.5	307	161.8
サラダ菜	市場計	36	105.8	415	132.6	30	115.5	337	100.2	27	99.0	311	96.8	58	107.0	325	98.8
	千葉	14	123.7	380	124.4	12	137.1	322	98.2	11	109.4	280	89.6	22	122.4	302	94.5
パセリ	市場計	32	87.2	743	123.6	26	87.3	698	126.2	25	94.5	673	109.9	50	90.7	686	118.0
	千葉	18	109.0	616	112.8	16	108.8	564	113.6	16	98.4	525	101.7	31	103.3	544	107.4
チンゲンサイ	市場計	175	104.1	200	93.9	155	116.0	185	91.9	138	119.4	174	73.4	293	117.5	180	82.5
エンダイブ	市場計	10	85.8	402	127.7	8	96.7	357	107.1	7	96.6	378	106.4	15	96.7	367	106.8
ミニトマト	市場計	639	94.2	840	140.6	662	111.2	709	116.6	719	121.1	531	97.5	1,381	116.2	616	106.9
	千葉	74	91.9	818	136.3	61	90.2	771	134.9	66	85.4	576	112.5	127	87.7	670	124.1
とうもろこし	市場計	3	35.0	346	165.2	0	6.1	349	129.9	1	22.6	366	137.0	1	12.2	360	134.6
いんげん	市場計	151	123.8	781	104.5	123	140.1	705	80.0	126	172.9	661	60.3	248	155.0	683	69.8
そらまめ	市場計	0	1200.0	1,328	109.3	2	1003.5	1,148	85.7	20	536.9	739	71.5	22	561.3	777	74.1
えだまめ	市場計	25	76.5	907	112.6	11	116.0	1,023	105.1	11	101.9	994	103.7	22	108.7	1,009	104.5
やまといも	市場計	54	83.0	593	94.6	50	84.7	600	93.3	53	77.4	584	99.2	103	80.8	592	96.4
	千葉	36	83.4	570	99.0	32	80.8	579	95.1	33	75.6	566	100.1	66	78.1	572	97.7
根しょうが	市場計	122	91.8	594	99.8	100	85.8	589	103.0	107	100.9	587	96.0	208	93.0	588	99.5
マッシュルーム	市場計	48	108.5	919	87.8	40	105.1	946	96.1	48	121.6	946	92.9	87	113.5	946	94.5
外国産	—	713	83.0	527	113.8	681	83.3	435	108.9	777	84.7	350	95.1	1,458	84.0	390	101.8
果実総量	—	16,795	94.4	265	108.0	14,237	101.8	277	107.2	15,177	95.8	295	110.2	29,414	98.6	286	108.7
みかん類	市場計	5,598	91.7	189	126.1	5,792	111.8	246	128.0	7,525	105.2	247	118.1	13,317	108.0	247	122.1
(極早生みかん)	市場計	5,241	90.8	184	126.3	1,142	56.9	175	135.1	186	33.7	147	132.6	1,327	51.9	171	136.4
(早生みかん)	市場計	337	108.3	274	114.2	4,619	146.5	264	113.3	7,288	110.6	250	115.1	11,906	122.3	256	114.9
かんきつ類	市場計	350	86.5	216	104.4	367	128.7	223	95.3	305	88.9	322	117.4	672	107.0	268	104.6
りんご類	市場計	2,473	96.7	279	112.4	2,234	100.1	285	105.5	2,518	84.4	283	102.6	4,752	91.1	284	103.9
(ふじ)	市場計	313	150.1	285	114.1	1,062	106.1	297	100.5	1,800	82.0	286	101.5	2,861	89.5	290	101.4
いちご類	市場計	37	95.8	2,280	107.6	104	102.8	1,953	99.1	253	115.5	1,733	101.0	357	111.5	1,796	100.0
メロン類	市場計	267	97.7	560	107.3	152	71.0	657	121.7	166	93.6	732	108.4	317	81.2	696	115.8
	千葉	10	149.4	520	87.9	4	85.6	532	103.4	4	83.7	694	120.8	8	84.6	615	112.8
(アールスメロン)	市場計	129	80.0	757	115.2	116	71.6	730	124.6	136	96.4	785	107.0	252	83.1	759	116.1
	千葉	10	149.4	520	87.9	4	88.6	532	101.4	4	83.7	694	120.8	8	86.0	615	111.7
ぶどう類	市場計	536	78.9	764	113.4	226	78.8	786	107.4	161	83.5	778	105.0	387	80.7	783	106.4
くり	市場計	63	53.6	912	150.1	27	56.4	1,052	148.1	6	19.8	930	137.7	33	42.7	1,031	147.8
かき類	市場計	3,253	105.5	190	84.6	2,086	91.1	191	92.9	1,540	82.6	236	112.9	3,626	87.2	210	101.4
外国産	—	1,606	87.0	195	99.8	1,425	104.0	193	96.4	1,336	94.5	191	99.0	2,761	99.2	192	97.7

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。 —は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 12月の見通し

野 菜

関東と九州・四国の西南暖地が中心産地となる。

生育前進により「だいこん」「にんじん」「ほうれんそう」「トマト」等は多かった前年並か前年を下回り平年を上回る一方、端境となる「キャベツ類」や曇天により生育が停滞している「きゅうり」が平年を下回る見込み。野菜全体では前年並みとなる見込み。

価格は、多くの品目で一時的には上がるものの、その後落ち着く見込みで、全体として前年をやや下回る見込み。

果 実

「みかん類」「りんご類」「いちご類」を中心に回る。

出荷が前進傾向となっている「みかん類」「りんご類」「いちご類」などで、年末にかけて品薄となることが見込まれており、全体としても入荷量は前年をやや下回る見込み。

「みかん類」「りんご類」「いちご類」で、年末にかけて引き合いが強まることが見込まれており、全体でも価格は前年を上回る見込み。

品 目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備 考 (県内産地の生育状況等)
	前年 比	平年 比	前年 比	平年 比	
だいこん	⇒	↗↗	↗	↘↘	主産地の千葉・神奈川県とも生育順調。千葉県は生育前進気味。入荷量は多かった前年並の見込み。
にんじん	↘	↗	↗↗	⇒	主産地の千葉県は生育順調。太物の多かった前年はやや下回るものの、平年をやや上回る見込み。
キャベツ類	↘	↘	↗	↘↘	主産地の愛知県は生育遅れから回復傾向。千葉県は生育順調で前進気味。入荷量は前年及び平年をやや下回る見込み。
ほうれんそう	⇒	↗↗	↘↘	↘↘	主産地の群馬・茨城県とも生育順調で前進している。入荷量は多かった前年並みの見込み。
ねぎ	↘	⇒	↗	↗↗	主産地の千葉・茨城・埼玉県とも生育順調。入荷量は多かった前年を下回るが平年並みの見込み。
きゅうり	⇒	↘	↘↘	⇒	主産地の宮崎・千葉・高知県とも曇天により生育は停滞気味。入荷量は少なかった前年並みで平年をやや下回る見込み。
トマト	⇒	↗↗	↘↘	↓↓↓	主産地の熊本県は生育順調。入荷量は多かった前年並の見込み。
なばな	↗	⇒	↘↘	⇒	主産地の千葉・香川・徳島県の生育は一部で病害がみられたが、今後は回復の見込み。入荷量は、平年並の見込み。

増加 減少

凡例	
⇒	平年並: ±2%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%
↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗↗↗, ↓↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 品目別生産出荷概況

なばな

主要産地のなばなの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	26年12月入荷量	26年12月シェア
千葉	106 t	64.2 %
香川	20 t	12.3 %
徳島	5 t	2.7 %
茨城	4 t	2.5 %

今後の競合産地の動向は?

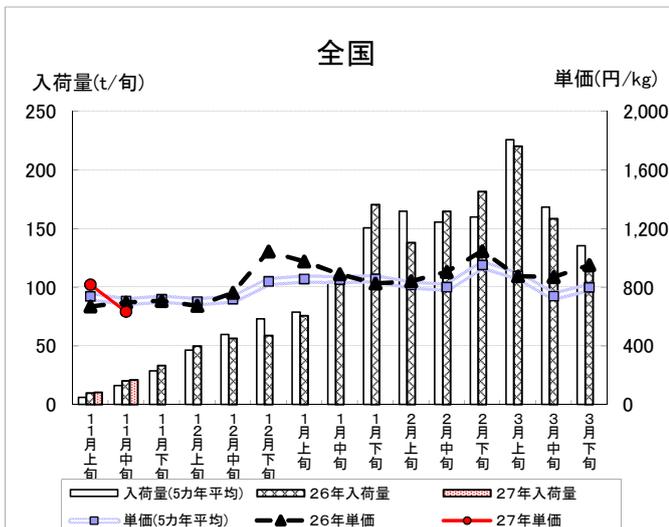
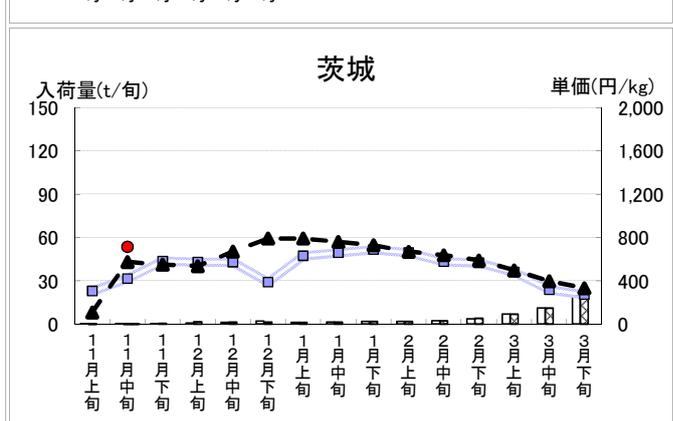
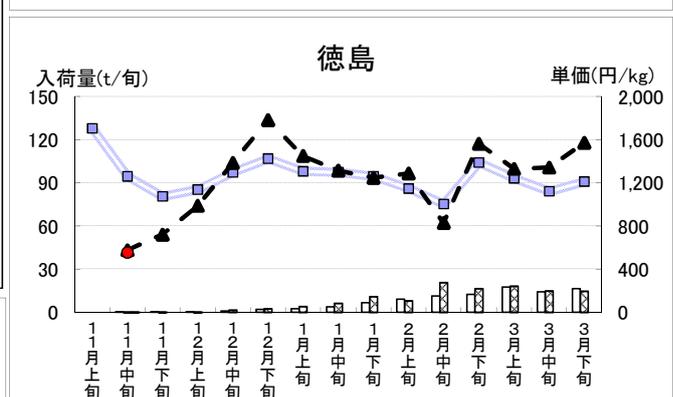
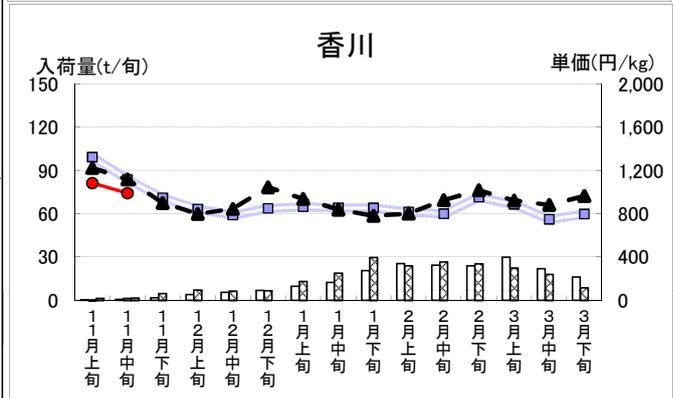
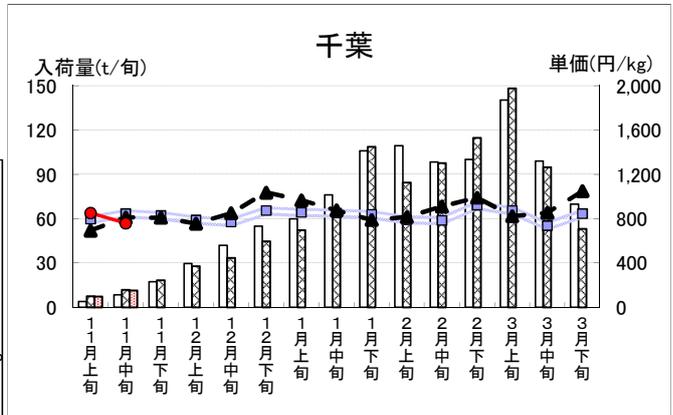
東京都中央卸売市場へのなばなの入荷期間は主に11月から4月までで、平成26年度の県別シェアは千葉県(59.3%)、香川県(12.6%)、徳島県(7.7%)、茨城県(7.3%)と、千葉県は約6割のシェアを占めています。

入荷は11月から始まり、徐々に増加し、3月のひな祭りの時期がピークとなります。出荷形態は、束(人形巻)の他、パックや袋、バラなどがあります。パックや袋などは、「かき菜」と同様に扱われ、ほうれんそう、小松菜と同じおひたし用の商材として販売されています。特に年明け以降は、春物商材として量販店での需要も高まります。

主産地である千葉県、香川県、徳島県の生育状況は、11月の曇雨天と高温の影響で一部で病害の発生がみられるものの、今後は回復が見込まれており、12月の入荷量は平年並の見込みです。

香川県、徳島県などの遠隔産地からの東京都中央卸売市場への出荷は、年明けから本格化してきます。香川県は空輸を行い、徳島県は発泡スチロール箱に保冷材を使った出荷を行うなど、徹底した鮮度管理を図っています。出荷規格は、香川県はパックやバラ、徳島県は束を中心にするなど、各県特色ある出荷を行っています。

12月入荷予測	175t(前年比105.7%、平年比97.9%)		
12月価格予測	765円(前年比91.5%、平年比100.0%)		
12月市況予測	(上旬) 弱保合 ↘	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 強保合 ↗



Ⅱ 花き情報

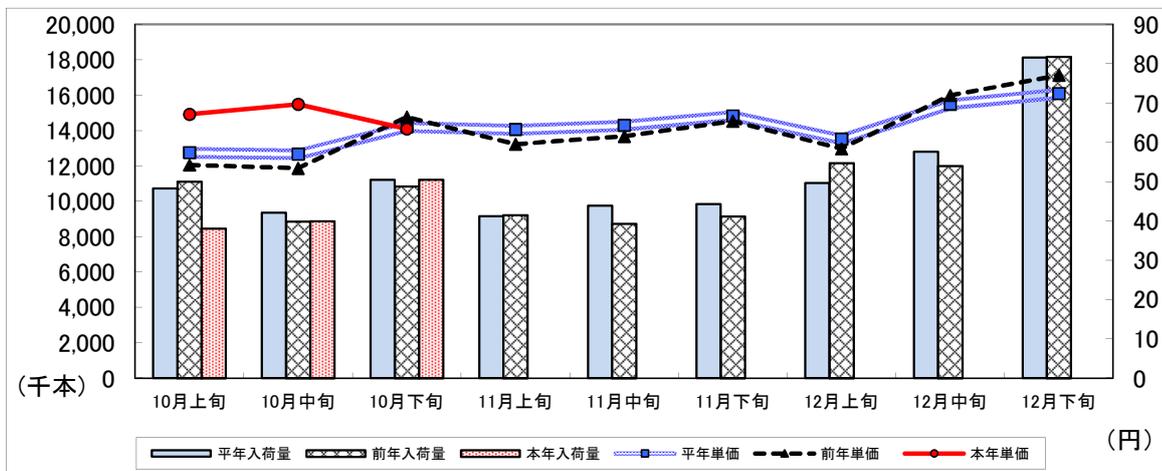
1 11月の経過（切花・上～中旬）

特段の大きな需要がない中、気温が平年より高く推移したことから入荷量が増加し、相場は低迷した。

(1) 販売経過（東京都中央卸売市場大田市場）

項目	経過
入荷量	気温が高く推移したことから入荷量は増加し平年を上回った。
相場	特段の大きな需要が無い中、入荷が潤沢であったことから単価は平年を下回った。
品目等	入荷量が多い一方で、需要面からは業務・小売向けいずれの荷動きも鈍く、ほぼ全ての品目で相場は低迷した。

(2) 入荷量と単価の経過〔株大田花き（切花）〕



(3) 品目別経過

品目	経過	
カーネーション	大田花き	大きな需要が無い上、温暖な気候による開花促進や前月の品薄を受けた輸入の増加により潤沢な入荷となり、厳しい販売状況となった。
	世田谷花き	業務需要からの引き合いは見られるものの供給量が多く、単価は低迷した。
キンギョソウ	大田花き	入荷量は上旬は少なかったが中旬以後増加傾向となり、大きく相場を崩した。特に白色が潤沢な入荷となり、厳しい販売状況が続いた。
トルコギキョウ	大田花き	気温が高い日が多く入荷量が増加する一方で大きな需要が無く、厳しい相場となった。

2 12月の見通し

品目	見通し	
カーネーション	大田花き	上旬は大きな需要は無いが、中旬以降クリスマス需要、年末需要の引き合いから堅調な相場が見込まれる。輸入に関しては平年並の入荷量が見込まれる。
鉄砲ユリ	大田花き	主力の鹿児島県に加え、千葉県、岐阜県からも入荷量が増加し、中旬頃まで厳しい販売が続く見込み。下旬からは中値での取引となる。
日本水仙	大田花き	年末に向けて入荷量は増加傾向となるが、気温の推移によっては前進化する可能性がある。

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

1. 青果物

単位：t、円/kg、%

品目	H27. 10月				累計 (H27. 4～10月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
野菜	27,263	180	93	125	169,787	209
だいこん	4,438	82	109	120	21,671	98
にんじん	1,804	117	102	123	10,898	148
はくさい	2,595	84	85	140	11,170	103
キャベツ	4,504	113	86	152	32,466	104
ねぎ	859	282	91	130	5,946	340
トマト	1,182	445	87	135	9,676	346
きゅうり	1,104	257	101	98	7,945	278
ばれいしょ	1,351	110	93	122	8,660	170
たまねぎ	2,167	77	99	93	12,556	117
レタス	1,010	238	64	270	8,368	210
果実	7,510	236	96	108	39,809	318
みかん	2,520	162	101	120	3,580	222
かき類	1,830	190	112	91	2,369	215
グレープフルーツ	141	143	81	116	1,356	172
なし類	407	244	69	116	5,063	308
ぶどう類	397	739	97	117	1,881	708
いちご類	6	1,883	112	119	1,042	847
すいか類	19	158	187	118	6,324	181
メロン類	85	421	117	102	3,084	366
バナナ	524	158	95	105	3,215	175
りんご	1,154	272	94	119	3,846	324
その他	269	150	84	112	1,718	159
青果物合計	35,042	192	94	120	211,314	229

2. 花き

単位：千本(鉢)、円/本(鉢)、%

品目	H27. 10月				累計 (H27. 4～10月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
切り花	2,423	62	101	129	20,017	58
きく	887	60	101	130	7,030	63
バラ	104	75	83	119	766	65
カーネーション	274	48	97	126	2,496	48
枝物	83	81	105	106	474	83
鉢物	160	101	87	103	852	112
その他	3	113	100	94	25	155
花き合計	2,669	65	100	122	21,368	60

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

IV や っ ら ゃ ば 閑 話

「青天の^{へきれき}霹靂」

10月17日(土)、青森県期待のお米の新品種「青天の霹靂」の都内で行われたデビューイベントを見に行った。場所は、銀座三越の地下3階にある米の専門店「米屋彦太郎」。下りエスカレーターを降りると真正面に売り場があり、青を基調とした斬新なデザインの袋に詰められた「青天の霹靂」が整然と並べられていた。

11時から知事のトップセールスがあると告知されていたので10分前に到着すると、会場にはすでに無償配布目当てのお客さんが20名ほど列を作っていた。その他に、県やマスコミ関係と思しきスーツ姿の人間が10数名。いつものデパートの食品売り場とは違った雰囲気を出していた。

実際にイベントが始まったのは、11時半くらいか。青森県の三村知事がこの品種に懸ける熱い思いを語った後、産地代表者や「ミスクリーンライスあおもり」がマイクを握って来場者に向けてPRを行った。このPRの中で繰り返し出てきたのが「特A」という言葉。日本穀物検定協会の食味ランキングで最高評価の「特A」を、この品種で初めて取った青森県の喜びとこの品種に対する自信がよく表れていた。もはや、米の新品種を売り出すには「特A」の評価は必須条件ということか。

イベント自体は、会場の設定から当日の進行、無償配布の試供品の包装に至るまで、よく練られており、「青天の霹靂」を高級ブランド米として売り出すためのオープニングイベントとしては、非常によくまとまっていたように思う。



青森県の三村知事(中央)



配布された300gの「青天の霹靂」

さて、野菜や果物でもこうした販促のイベントは数多く行われている。むしろ、お米よりもっと日常的に、量販店の店頭や市場において「〇〇フェア」や「〇〇の試食宣伝会」などとして、行われるようになった。こうしたイベントを見ていると、時々、ちょっと首を傾げたくなるようなケースに遭遇する。

例えば、

- 市場を主たる出荷先として位置づけていない産地が市場でPRする
- 量販店に計画的(安定的)に出荷しない(できない)産地が店舗でPRする
- 日常使いの野菜を店舗で試食宣伝する
- 同じ品目を同じ店舗で複数の産地が同時にPRする

「これって、効果あるの？」思わずこうした言葉が口をついて出てしまう。「何か販売対策に取り組まなければならない」、そうした状況の中で、「販促イベントをやること自体が目的」になっているのではないですか？

「誰に対して、何を訴求するのか？ そのためには、いつ、どこで、どのようにやるのが最適か？」

基本に立ち返って、もう一度イベントの企画を見直してみたらいかがですか？

(黄昏の上野東京ライン)

V 首都圏揭示板



産地の魅力を八百屋にPR！さつまいも産地見学会

八百屋など青果小売業者は、対面販売を行い、消費者と直接情報交換ができることから、より多くの商品に関する情報を消費者に伝えることができます。そこで、この情報発信力を活用して県産農産物の販売促進を図るため、大田市場を拠点とする青果専門小売業者を対象に、11月8日（日）、県・全農千葉県本部・JAかとりの共催により、さつまいも産地見学会を開催しました。

参加者は、生産者から直接栽培の工夫やこだわりを聞くとともに、大型集出荷施設で選別や貯蔵の仕方の説明を受けました。また、「道の駅くりもと」では、焼き芋の食べ比べや、品種特性に応じたおすすめ料理を試食した後、生産者と意見交換を行い、産地との交流を深めました。

参加者からは、「産地の栽培や出荷の大変さがよく理解できた」、「品種別の特性を活かした美味しい食べ方がわかった」、「今後の販売のヒントが得られた」など、「産地でじっくり聞かないとわからないさつまいもの魅力が発見できた」との感想が聞かれました。



生産者から良品生産の工夫を説明



焼き芋と品種別のおすすめ料理で
品種特性の違いを体感



生産者と販売について意見交換